

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	Ⅲ-26	利用者の視点に立った具体的な介護計画にするには、本人、家族の思いや意見を聞き、反映させる必要がある。	介護計画は、本人とその家族の意見や願いを話し合った結果をもとに作成します。	本人とその家族、計画作成者、担当職員、介護主任で構成される懇親会を年4回実施します。	12ヶ月
2	I-13	それぞれの職員の立場や経験、習熟度に応じて、自主的に目標を立て、実践することが人材育成に繋がる。	それぞれの職員が目標に向かって、計画的に資質向上に取り組めます。	各職員の1年間の目標を明確にし、掲示する事でお互いに切磋琢磨し目標に向かって努力します。	12ヶ月
3	I-4	会議の参加者からの意見をホームの課題として受け止め、継続審議して結論の出る会議運営を期待したい。	継続審議して、結論の出る会議運営を行うことができます。	年6回開催される運営推進会議のうち3回は、地域住民の代表、市町村職員、地域包括支援センターの職員、地域密着型サービスの知見者を中心とした会議とする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。